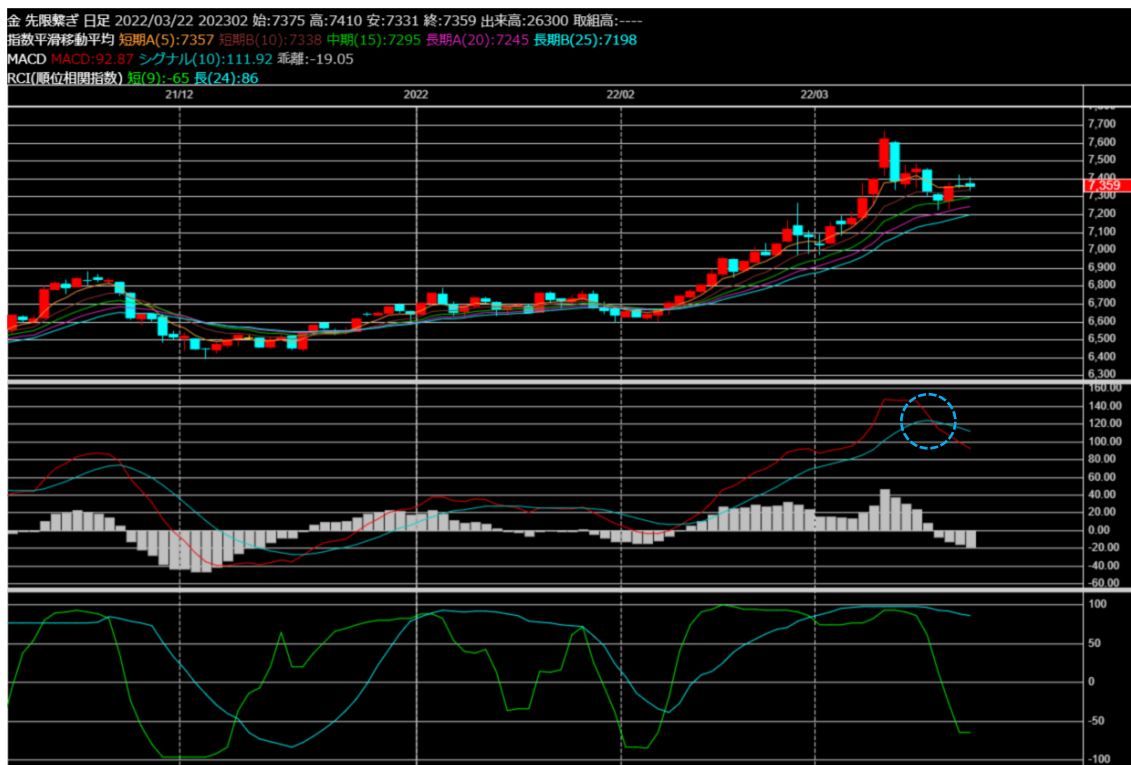


<金標準先物、金融政策や要人発言を控え円安：ドル高に注意・・・>



(出所：オアシス)

FOMC で 2020 年 3 月にゼロ金利を実施して以来、FF レートを 0.25%の引き上げを実施し、ゼロ金利政策の解除を発表している。また日銀金融政策決定会合ではゼロ金利を維持するなど、為替市場は「利上げできない日銀と利上げを急ぐ FRB」の違いで、2016 年 2 月以来の 119.41 円まで円安：ドル高が進んでいる。

特に今週はブラックアウトが明けて、パウエル FRB 議長やクリーブランド連銀総裁、サンフランシスコ連銀総裁の講演を控え、またスイス、ノルウェー、メキシコ、南アフリカと金融政策決定会合も控えており、タカ派の金融政策へ移行する可能性は高く「金利を生まない金」とっては高値が抑えられる要因と思える。

またウクライナ情勢は膠着状態であり、戦争プレミアムは低下しているだけに金利上昇の要因は金価格の戻りを抑える可能性は高い。そのため今週は金標準先物では 7400 円で戻りが抑えられると FOMC で試した安値 7232 円を試して来る可能性が高まると予想される。

<テクニカル>

金標準先物の日足を MACD と RCI で見ると、MACD では、**MACD** と **シグナル**が下げ続け、**MACD** と **シグナル**の乖離であるヒストグラムも弱気に転じている。また RCI でも**短期**が下げながら、**長期**は高い水準を維持するなど下げ渋る値動きが予想される。そのため **MACD** と **シグナル**のクロスが発生した場合は、基調が弱気から強気へと変化を示したサインと思われる。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 942,500 円(2022 年 3 月 22 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 34,540 円(2022 年 3 月 22 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-3249-8827 (受付時間:平日 8:30~17:30)

証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>